

キャッチフレーズの候補

1.非公式オンライン会議のまとめ

キーワード

- ・みやしろ流
- ・10年後の宮代町をどうしたいのか
- ・地に足がついた楽しい生活
- ・人のつながりが安心感
- ・豊かさや、幸福を宮代らしい言葉で
- ・誰もが主役になる
- ・ちょうどいい繋がりがある
- ・個人が尊重されリスペクトされる
- ・外に対しても皆が共感できる
- ・中の人々が堂々と自信をもって言えること
- ・自分のライフスタイルのモデルがある
- ・市民が自立していく

⇒目に見える風景をなぞったような現状を表すものでなく、
10年後の町の姿をみんなでイメージし目標となるようなものがよい

2.キャッチフレーズの候補

これまでの意見交換やオンライン会議を踏まえて、候補を選びました。これらの候補は、住民意識調査で提案のあったものを組み合わせたり、イメージを膨らませたもの等

- ・3万4千人が物語をつむぐ町
- ・首都圏でいちばん人が輝く町
- ・ここにしかない物語のあるまち
- ・ここにしかない夢を語れる町
- ・地元が愛されるまち
- ・ヒト・モノ・コト 共感がつなぐまち

3万4千人が物語をつむぐ町

宮代町は、都市的に洗練された面と、居心地の良い田園的な面を有しています。この両方の要素を兼ね備えている市町村は、そう多くはありません。都市と田園の絶妙なバランスは「宮代らしさ」を形成しており、これが宮代町の良さであると言えます。



宮代町はすでに、東京のベッドタウンではなくなっています。

宮代町はかつてのように、都心に通勤する人たちのための町ではなく、今では、宮代町に住み、近隣で働く人たちの割合が高くなってきています。コンパクトな町の中で行われている活動も、それに取り組んでいる人々も、顔の見える距離にあります。



これらは宮代町がセールスポイントとして力を入れていくべき点です。

次の10年はこうした「宮代らしさ」を価値として高める機会ととらえ、住みたい、住み続けたいと思える町になることを目指します。



首都圏でいちばん人が輝く町

宮代町は、都市的に洗練された面と、居心地の良い田園的な面を有しています。この両方の要素を兼ね備えている市町村は、そう多くはありません。都市と田園の絶妙なバランスは「宮代らしさ」を形成しており、これが宮代町の良さであると言えます。



宮代町はすでに、東京のベッドタウンではなくなっています。

宮代町はかつてのように、都心に通勤する人たちのための町ではなく、今では、宮代町に住み、近隣で働く人たちの割合が高くなってきています。コンパクトな町の中で行われている活動も、それに取り組んでいる人々も、顔の見える距離にあります。



これらは宮代町がセールスポイントとして力を入れていくべき点です。

次の10年はこうした「宮代らしさ」を価値として高める機会ととらえ、住みたい、住み続けたいと思える町になることを目指します。



ここにしかない物語のあるまち

宮代町は、都市的に洗練された面と、居心地の良い田園的な面を有しています。この両方の要素を兼ね備えている市町村は、そう多くはありません。都市と田園の絶妙なバランスは「宮代らしさ」を形成しており、これが宮代町の良さであると言えます。



宮代町はすでに、東京のベッドタウンではなくなっています。

宮代町はかつてのように、都心に通勤する人たちのための町ではなく、今では、宮代町に住み、近隣で働く人たちの割合が高くなってきています。コンパクトな町の中で行われている活動も、それに取り組んでいる人々も、顔の見える距離にあります。



これらは宮代町がセールスポイントとして力を入れていくべき点です。

次の10年はこうした「宮代らしさ」を価値として高める機会ととらえ、住みたい、住み続けたいと思える町になることを目指します。



ここにしかない夢を語れる町

宮代町は、都市的に洗練された面と、居心地の良い田園的な面を有しています。この両方の要素を兼ね備えている市町村は、そう多くはありません。都市と田園の絶妙なバランスは「宮代らしさ」を形成しており、これが宮代町の良さであると言えます。



宮代町はすでに、東京のベッドタウンではなくなっています。

宮代町はかつてのように、都心に通勤する人たちのための町ではなく、今では、宮代町に住み、近隣で働く人たちの割合が高くなってきています。コンパクトな町の中で行われている活動も、それに取り組んでいる人々も、顔の見える距離にあります。



これらは宮代町がセールスポイントとして力を入れていくべき点です。

次の10年はこうした「宮代らしさ」を価値として高める機会ととらえ、住みたい、住み続けたいと思える町になることを目指します。



地元が愛されるまち

宮代町は、都市的に洗練された面と、居心地の良い田園的な面を有しています。この両方の要素を兼ね備えている市町村は、そう多くはありません。都市と田園の絶妙なバランスは「宮代らしさ」を形成しており、これが宮代町の良さであると言えます。



宮代町はすでに、東京のベッドタウンではなくなっています。

宮代町はかつてのように、都心に通勤する人たちのための町ではなく、今では、宮代町に住み、近隣で働く人たちの割合が高くなってきています。コンパクトな町の中で行われている活動も、それに取り組んでいる人々も、顔の見える距離にあります。



これらは宮代町がセールスポイントとして力を入れていくべき点です。

次の10年はこうした「宮代らしさ」を価値として高める機会ととらえ、住みたい、住み続けたいと思える町になることを目指します。



ヒト・モノ・コト 共感がつなぐまち

宮代町は、都市的に洗練された面と、居心地の良い田園的な面を有しています。この両方の要素を兼ね備えている市町村は、そう多くはありません。都市と田園の絶妙なバランスは「宮代らしさ」を形成しており、これが宮代町の良さであると言えます。



宮代町はすでに、東京のベッドタウンではなくなっています。

宮代町はかつてのように、都心に通勤する人たちのための町ではなく、今では、宮代町に住み、近隣で働く人たちの割合が高くなってきています。コンパクトな町の中で行われている活動も、それに取り組んでいる人々も、顔の見える距離にあります。



これらは宮代町がセールスポイントとして力を入れていくべき点です。

次の10年はこうした「宮代らしさ」を価値として高める機会ととらえ、住みたい、住み続けたいと思える町になることを目指します。

